



やさしさと思いやりで笑顔がいっぱい

文責 校長 中島 由広

2学期が始まりました

猛暑、酷暑、炎暑・・・、そんなおどろおどろしい言葉を何度聞いたでしょうか。とっても暑かった夏休みが終わりました。始業式の9月1日、子どもたちは、両手一杯に荷物を抱えながら、元気に登校することができました。朝のあいさつもそこそこに、「校長先生、夏休みはね、いとこの家に行って花火をしたんだよ。」「あのね、ぼくはね、・・・。」という具合に、たくさん子どもたちが思い出話をしてくれました。

中には涙目で登校したり、伏し目がちで教室に向かったりする子どももいましたが、すぐにリズムを取り戻していつもの笑顔で登校してくれるだろうと期待をしているところです。

始業式では、3年のC.Nさんと、6年のA.Iさんが夏休みの思い出や2学期に向けての抱負を発表してくれました。

【3年 C.Nさん】

夏休み楽しかったことは二つ。みなとまつりに行ったこと、佐賀県の宇宙科学館に行ったこと。大きくて迫力のある花火を見たことや30分間のプラネタリウムを見たことが心に残っている。

2学期にがんばりたいことは二つ。一つ目は堂々と返事ができるようになること、もう一つは目を合わせて、声を大きく、時と場に合った挨拶ができるようになりたい。そしていろいろな人を笑顔で明るい気持ちにしたい。



【6年 A.Iさん】

2学期にがんばりたいことは二つ。一つ目は算数の予習復習をしっかりと、高得点を出せるようにしたい。

二つ目はバスケットボール。運動が苦手な、何か一つでもうまくなりたいという思いで6年生になってからバスケットボール部に入った。練習はすごく楽しい。周りのことを見て動くことができるプレイヤーになっていきたい。勉強も部活動も両立してがんばっていけるようにしたい。



二人とも、自分の思いを堂々と発表してくれました。二学期のがんばりを楽しみにしています。

平和祈念集会を行いました

台風接近で登校日が取りやめになった8月9日。その日に実施するようにしていた平和祈念集会もできなくなりました。山里小では、8月9日にできなかった平和祈念集会を9月1日に実施しました。

11時2分の黙とうに始まり、献花、献鶴、平和の誓い、「あの子」の合唱など、通常の祈念集会と同じような流れで行いました。校長の話の中で、「私たちの役目は、戦争や原爆によってもたらされた被害や苦しみを感じ、平和の大切さをこの後もずっと伝えていくこと。」ということをお話しました。

平和について、山里小としてすべきことは何なのか、できることは何なのかを子どもたちと一緒に考えながら、平和教育活動を進めていきたいと思っております。